

19 春闘「整備安全アンケート」集計結果①

作業ミスの背景を深掘りすべき

J-WING

日本航空ユニオン宣伝ニュース
No 174(10-09)
2018年 3月 05日

Tel: 03-5756-8690 URL <http://www.jlu.co.jp> e-mail honbu@jlu.co.jp

今年1月に実施した「整備連 整備安全アンケート」の集計結果の報告です。回収枚数は260で、ライン整備192、ドック整備29、スタッフ10、ショップ4となり、勤務は2交代131人、3交代92人となっています。WEBアンケートでANAグループからも数件回収しましたが、今回は除いて集計しました。

この1年間の職場の変化について

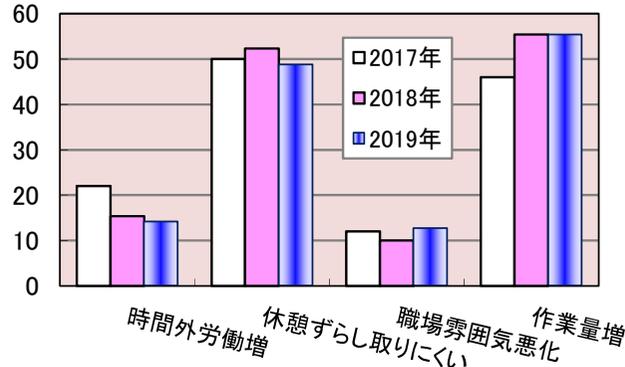
■ 職場の人員については、ドック・ライン整備全体の76%が「足りていない」と回答。3交代勤務では97.5%が人員不足を訴えています。2018年度と比較しても同じ状況が続いています。

職場の人員について(ドック・ライン整備)

職場実態	所属職場		勤務		合計
	ドック	ライン	2交代	3交代	
足りている (%)	4 5.9%	31 15.0%	33 24.0%	2 10.5%	35 14.2%
足りてない (%)	25 94.1%	162 84.5%	96 75.2%	88 97.5%	187 76.0%

■ 職場の変化について、選択項目を選ぶ設問では、年々、時間外労働が減る方向にあるのが見て取れます。昨年に引き続き「作業量の増加」と答える人の割合が半分を超えています。シフトによらず労働密度が上がっていることが分かります。職場の雰囲気が悪くなっていると答えた人は昨年減少しましたが、今回また増えてきました。

職場の変化について(複数選択可)



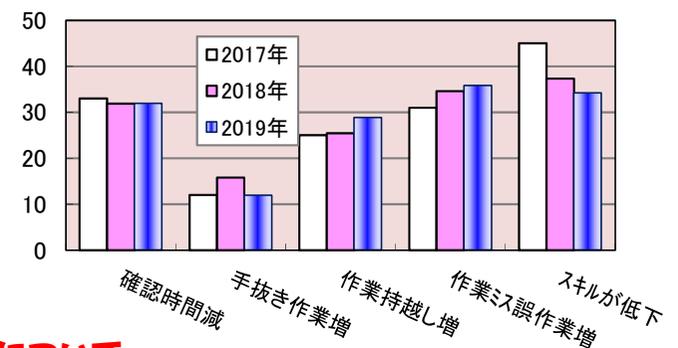
■ 職場の実作業面での変化については、「作業持越し増」が増えてきました。「壊れない飛行機」を作る前の「壊れたら直す」という基本的なこともできない状況になっています。部品不足、人員不足が安全にも影響していると言えます。

この1年間の作業ミスについて

■ 自らの作業ミスについても聞いています。昨年、ドック整備で「あった」と答えたのは41.2%でしたので、かなり減少しています。良い傾向ですが、重い作業を外注したり、ライン支援に多く出たりして重整備の実作業が減少しているのも背景としてあるかもしれません。

■ ミスの原因について昨年と比較してみると、「時間的制約」が相変わらず多く、6割以上になっています。ミスの原因がタイムプレッシャーとしても、再発防止策を考えるときに「個人の不注意」にされると解決には至りません。人員増で応援を呼べる体制づくりが必要です。

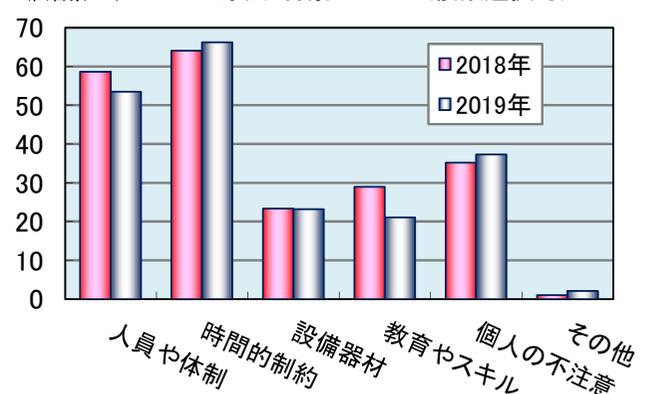
実作業面での変化(複数選択可)



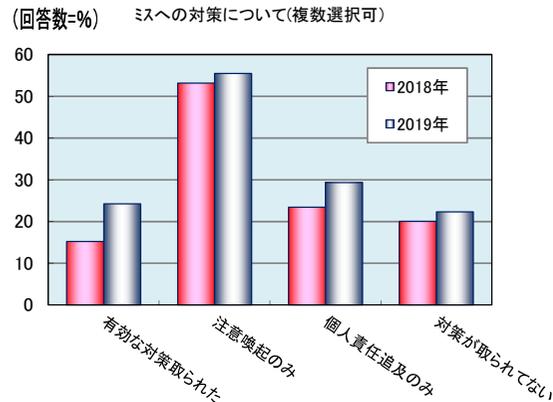
この1年間であなたの作業ミス(ライン・ドック)

作業ミス	所属職場		勤務		合計
	ライン	ドック	2交代	3交代	
あった (%)	57 27.1%	6 17.6%	31 24.6%	32 27.1%	66 27.0%
なかった (%)	129 61.4%	23 67.6%	92 73.0%	57 48.3%	162 66.4%

ミスの原因・背景について(複数選択可)

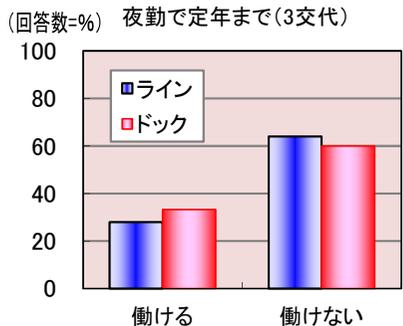
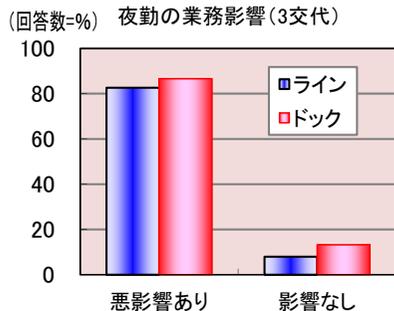
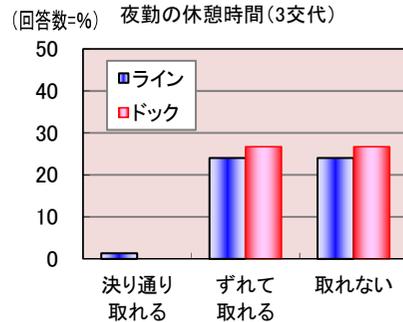
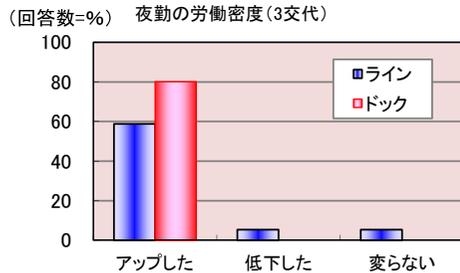


■ ミスへの対策については、全体で 157 件の回答があり、今年も一番多いのが「注意喚起のみ」で回答者の 5 割を超え、「個人責任追及のみ」も増えています。シヨップやスタッフ部門で「有効な対策が取られた」が増えたので伸びているように見えますが、ドック・ラインでは相変わらず 2 割を切っています。

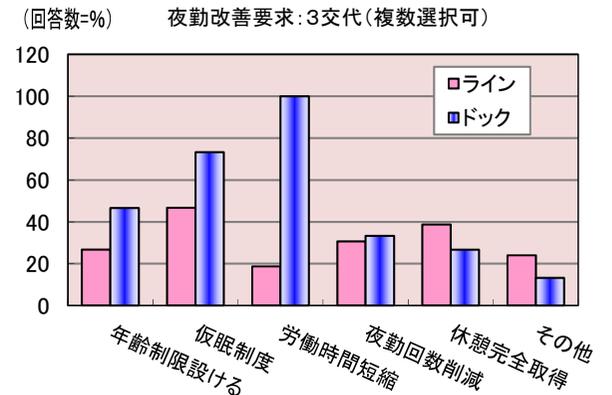


□ 夜勤の実態について

■ 恒常的に夜勤を行っている人、経験者に、この1年間の労働密度について聞いた設問では、ドックの3交代勤務者の回答は昨年と変わりません。ラインは昨年 46.5% だったのが、6 割近くに上昇しています。夜勤時間帯の休憩時間については、「決まり通り取れる」と答える人はほとんどいません。ラインでは空いた時間に休憩しているため「無回答」が多くなっています。恒常的に夜勤をしていると疲労が取れず集中力が低下し、ミスが増加します。夜勤における疲労管理がこれからの課題です。



■ 夜勤の改善要求については、ドックの3交代で労働時間短縮の回答が 100% となっています。ラインの夜勤が短縮されたためその差が大きく開きました。他の改善要求については同じような傾向にあります。ドック3交代の勤務の見直しが課題です。



夜勤の「業務に悪影響」「定年まで働けない」理由の記述内容

◆夜勤の整備作業へ悪影響ありと答えた 104 件中、87 件の理由の記述がありました。一番多いのが「疲労」に関する記述で 21 件、「集中力・注意力低下」が同じくらいで 20 件、「ミスをする」は 7 件となっています。また、健康不安や、一昨年変更になった勤務への意見もありました。

【具体的記述内容抜粋】

「朝方 3 時～5 時の集中力欠乏は著しい」「夜間帯作業の機数が多過ぎて資格者がアサイン出来ないで資格者や作業経験者に多くの負荷がかかっている」「日中帯より効率が落ちる。見落としも多い」「頭、体、心が一致しなくなり思うように働けない。」「毎日違う時間帯で働くことで、リズムが変わる。」「夜勤時間が短くなっても、D 勤 S 勤が長いので疲れが取れない」「作業環境が悪い中、集中力が続かない、そもそも人間は夜行性ではない」「肥満体質に変化」「途中に少しでもいいから仮眠を取るような休憩時間がない。」「長い E/S 勤の後の N 勤明け/休日→体が休まらない」「時間がない中、複数機を作業を行い、書類整理もままならない。」

◆現行夜勤職場で定年まで働けないと答えた 96 件中、74 件の理由の記述がありました。一番多いのは、「体力が持たない」といった健康上の問題で 25 件で 1/3 を占めています。さらに「仮眠時間が無い」「疲労が取れない」も多く、「寿命が縮む」といった回答もありました。

【具体的記述内容抜粋】

「年を取る毎に知識、経験値は増すのであろうが、体力、記憶力、瞬発力、は衰えるばかりで、身体、精神の疲労が休日 1 日ではリカバリー出来ない」「体力が保たない。健康が阻害される。いくら頑張っても正当な評価がなされないためモチベーションが維持できない」「あと 10 年先はわかりません」「夜勤手当増額」「定年後のその先の人生が大変(健康面)」「疲れが取れない、異常に責任が重い」「キツイ。責任を負う作業が多すぎ」「フラフラです」「若い人が少ない。昔は 50 歳以上は、ボールペンと経験のみで仕事していた」「早死にしそう」「体に負担がかかり過ぎている。休む時間が無い」「夏場の疲労回復が出来ない」「命を削り仕事をしている」「夜勤明けは、頭痛がひどい」「ひとりで夜勤してて危ない」「身体が持たないすでに悪いところが出始めているが良くする環境にない」